# ドラム缶破砕システム

**Waste Drum Shredding System**

を作業員が 1 本ずつ焼却処理を行ってきた．**第 1 表**に示す内容物には引火性の高いものや異臭を放つようなものも含まれる場合があり，また，ドラム缶の中身を 1 本ずつ開けて処理していたので，ばく大な時間と労力を要し，危険性も高かった．

今回紹介するドラム缶破砕システムは，ドラム缶をそのままの形状で安全にかつ，迅速に搬送・破砕処理し，

**第 2 図**　廃塗料

**第 1 表**　処理内容物例

| | |
|---|---|
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

して窒素雰囲気内へ投入される．破砕する際，爆発の危険性を回避するため，窒素発生装置を使用し，チャンバ内および以下に説明する主要設備内に窒素を吹き込み，設備内雰囲気を酸素濃度 4%以下に保ちながら破砕を行う．

破砕機（

ラスチックなどと一緒に，ミキサ（

**第 7 図**）へ投入され，混錬・安定化させる．

ミキサは，油圧駆動の低速回転式一軸パドルミキサを改良したものである．油圧トルク，ミキサ内部重量・温